

【学校生活キーワード】

いい顔 いい汗 いい学び 大きく のびろ 大野中

生徒数： 男 251名、女 224名、計 475名

## 明るい表情で始業式。第二学期スタート

### 他市に先駆けて

鹿嶋市では鹿行の他市に先駆けて八月二十九日から第二学期が始まった。

校門での挨拶する生徒を見ると、どの子も元気な様子で安心した。

「おはようございます」と返す言葉に、二学期も頑張るぞという意気込みを感じることができた。

体育館での第二学期始業式は暑かったが、生徒も整然としていた。その中で、次のような話をした。

#### 一、どんな夏休みでしたか

・部活動で朝から夕方まで頑張っている姿が見られた。

・柔道部女子の関東大会出場から学ぶことが多かった。

#### 二、どんな秋にしたいですか

・実りの秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋など。

・何をするにもいい季節が秋です。

・自分なりの秋を見つけて欲しい。

#### 三、被災地を訪れて

・石巻市立大川小学校は見るも無残な姿だった。

・六年生にとっては中学校入学三週間前の悲劇だった。

・生きていることを当たり前と思わないで目標に向かって努力して欲しい。

・南三陸町まで足を伸ばし漁港らしきところへ行ってみたが、壊滅状態であった。

・被災状況の写真を掲示しておくので自分の思いを感じて欲しい。



### 大野地区の連携強化

八月九日（木）、大野ふれあいセンターにおいて大野地区にある幼稚園・保育園・小学校・中学校から全職員が集まり合同研修会を実施した。

大野地区では今までも「大野パワーアップ大作戦」と称する小中の連携強化を狙った取組を行ってきた。今年はさらにその連携を幼稚園と保育園まで拡大し、より一層の充実を図ることがその目的である。

当日は鹿嶋市教育委員会大橋正彦教育長はじめ、飛田芳子教育委員長職務代理者、伏見文教委員の出席のもと、跡見学園女子大学山口豊一教授に講演をいただいた。演題は「幼稚園・保育園、小学校、中学校における連携」であった。

その後、参加者が五つの分科会に分かれ、それぞれのテーマのもと話し合いを進めた。

幼保小中の連携の重要なポイントは、小学校へ進学する段階・中学校へ進学する段階に生じる不適応問題である。また、進学後の学業不振・長期欠席問題でもある。これらを解消するためには今までのようにその学校独自で解決策を考えるのではなく、連携の重要性を再認識し、早い段階から具体的に連携しながら取り組んでいくことが不可欠と山口氏は言う。

非常に有意義な研修会になった。今後は山口教授から指導をうけた事を具体的に進めていくこととなる。



### 幼保小中合同研修会



### 二期の抱負発表

二期期にはこんなことで頑張りたいという抱負を次の三名が堂々と発表してくれた。

一年 松本直也 君

二年 小澤奈緒 さん

三年 津賀明日香 さん

### 少年の主張発表大会

鹿嶋市少年の主張発表大会で三年生の日向寺晴香さんと真家優花さんが優秀賞に輝いた。なお、日向寺さんが三位に入った。テーマは「続けることの大切さ」、真家さんは「助けてくれてありがとう」だった。



### 柔道女子関東大会で活躍

八月十日（金）船橋アリーナにおいて、柔道の関東大会が開催された。本校女子は団体で出場した。対戦相手は神奈川県（平塚市立浜岳中学校）だった。女子団体は三人で戦う。前日の個人戦の優勝と三位が浜岳中学校の三人の中にいた。本校は敗れはしたが、関東大会出場という貴重な経験から多くの事を学んだ。ご苦労様。



# 第56回大野中学校体育祭

H24.9.8

総合優勝は(緑)玄武団

応援合戦優勝は(赤)朱雀団

生徒たちの若さあふれる演技に拍手



準備OK!



売店も準備OK!



『We can do it! 優勝をこの手に!』(転校していった小川太一君のテーマが採用されました。)



吹奏楽部の演奏に合奏して選手入場です。涼木君の力強い音で演奏していました。



いよいよ四団(朱雀・青龍・白虎・玄武)の戦いが始まります。



背渡り



台風の日



大縄跳び



選手入場です。

3人4脚



棒・タイヤ引き



綱引き



女子騎馬戦



男子騎馬戦



玉入れ



リレー



白虎団

応援合戦



朱雀団



最終種目「ムカデ」



玄武団



青龍団



団旗リレー